

事業者部門会議の概要

1. テーマ 関西電力(株)とBEMSアグリゲータとの協業による電力ピーク対策

2. 目的

- ・東日本大震災以降、供給力不足に対応するため、需要側の節電、電力ピークカット等を促す仕組みが数多く用意され、その中で、電力会社からの要請に応じて、利用者が電力の使用量を削減する「デマンドレスポンス」の取組みも新たに用意された。
- ・デマンドレスポンスの取組みは国においてもガイドラインの整備や、実証事業の実施等が進められているところであり、今後、電力システム改革が進めば、電力料金の低減、エネルギー効率の向上、更には電力の安定供給に寄与する重要な機能となりえる。
- ・需給ひっ迫時に、関西電力がBEMSアグリゲータとの協業で実施した電力ピーク対策について、関係者が集まり議論することで、今後の取組みの進展につなげる。

3. 会議の開催

(1) 日時：平成27年5月15日(金)午後3時～午後5時

(2) 場所：大阪府咲洲庁舎23階会議室

(3) 出席者：

・関西電力(株)

・BEMSアグリゲータ

イオンディライト(株)、(株)ヴェリア・ラボラトリーズ、(株)エディオン、(株)エナリス、NKワークス(株)、(株)NTTファシリティーズ、(株)環境経営戦略総研、(一財)関西電気保安協会、(株)関電エネルギーソリューション、(株)グローバルエンジニアリング、(株)コム・トレード、(株)住友電気工業、ダイキンエアテクノ(株)、ダイキン工業(株)、(株)テクノ菱和、パナソニック(株)エコソリューションズ社、福島工業(株)、富士電機(株)、(株)安井建築設計事務所

・オブザーバー 経済産業省近畿経済産業局 エネルギー対策課 山下 忠司課長

(4) 概要

- ・近畿経済産業局から、国におけるデマンドレスポンスの取組み動向（ネガワット取引のガイドライン策定、実証事業の概要）について説明があった。
- ・関西電力(株)から今夏の需給見通し及びBEMSアグリゲータとの協業による電力負荷調整の取組みについて説明があった。
- ・大阪府からBEMSアグリゲータへのアンケート調査結果を報告した。
- ・その後、関西電力とBEMSアグリゲータとの協業によるピーク抑制の取組みの今

後の進展に向けて意見交換を行った。

(関西電力による説明)

○取組み全般

- ・今夏の需給については、できる限りの供給力確保に努めているが、需給想定に無理の無い節電を織り込ませていただいている。他社融通なしには最低限の予備率3%を確保できない状況であるため、引き続きご協力をお願いしたい。
- ・平成24年夏から実施していく中で、様々なご意見を頂戴しながら、負荷調整対象顧客の要件拡大、負荷調整時間単位の変更、基準電力の設定方法の変更など、ブラッシュアップしながら進めているが、今夏は対象顧客の上限を撤廃する予定。

○BEMSアグリゲータからの意見・要望に対して

- ・ベースラインの設定が電力各社によって異なることについては、当社で採用している方式は国のガイドラインで標準的なものとされている。今後の実証事業の中で見直し等の必要性は出てくるかもしれない。
- ・冬の急な冷え込みで、前日要請のベースラインの補正がないことについては、その直近の時間帯では事業活動がまだ始まっておらず、想定が難しいことから現在のやり方が合理的だと考えている。
- ・取組みへの参加を促すためのインセンティブについては、各アグリゲーター様の特色を出すところであり、当社が言及できることではない。

(その他)

- ・大阪府および関西電力に対して、エンドユーザーが持つ不安を解消するため、BEMS機器のわかりやすい説明や有効性、BEMSアグリゲーターの存在についてPRする機会を設けたり、案内するビラ作成等を求める意見があった。